

外部評価の公表にあたって

アジア成長研究所（AGI）は1989年に国際東アジア研究センターとして設置され、北九州の地においてアジアの経済・社会問題を研究しながら国際学术交流を促進するなど着実に実績を重ね、今日に至っている。

この間、多くの皆様のご支援とご協力のもと、世界へ情報を発信し続け、国内外のネットワークを通じて国際社会と地域社会へ大きく貢献することができている。

ここに公表する外部評価報告書は、2016年度からの現中期計画（2016-2020）を基に、あらためて当研究所の目的、組織、運営、研究活動の総体について外部評価をいただくと共に研究所のさらなる機能改善に向けて示唆をいただいたものである。

今回の外部評価は、アジア経済、産業政策及び都市政策分野の国内外で著名な研究者3名に委員をお願いし、2020年3月に実施していただいた。その評価及びその後の検討を経て作成していただいたのが本報告書である。

本報告書は、当研究所の活動の多くについて肯定的に評価しながら、同時に、期待される役割を十分に発揮するための、さらなる努力の必要性を鋭く指摘している。特に、当研究所は、学術機関に付属する研究所や民間の研究所とは異なり、地方自治体に所属する研究所として、学術的研究と共に北九州市に関連する政策的研究の両立を追求しており、それが際立った独自性となっている。したがって、当研究所が学術的観点から地元の行政に対して支援を行っているという強みをさらに伸ばし、それを広く発信することは重要であると、指摘している。

これらの課題に即した内容は、すでに活動のなかで展開されてきているが、昨今のコロナ禍にあたり、なお今後に期すべきところもあり、当研究所としてはこれらの課題を実際の活動のなかに一層具体化させ、課題の解決を追求しなければならない。外部評価委員会は、これらの課題を探求する際に役立つ助言をくださっている。ここで、私たちにとって何よりも重要なのは、当研究所が、時代の要請に応じて自己のあり方を模索し、変化させ、そしてその進化過程を発信することを通じて、研究所自体の存在意義が確保されていくことである。

最後に、ご多忙中にも関わらず業績評価の労をお取りくださった外部評価委員会の3名の委員の方々に、この場を借りて謹んで心から御礼を申し上げたい。

2020年10月 アジア成長研究所 理事長 八田 達夫

外部評価の概要

1. 評価方法

中期計画の達成状況、北九州市行財政改革大綱の見直し内容及び当研究所の新たな取り組みについて意見交換を行い、それらに対する評価と助言に加え、当研究所の今後のあり方についてのご提案に関して報告書に纏めていただいた。

2. 外部評価委員会委員（50音順）

家田 仁 政策研究大学院大学政策研究科教授

大橋 弘 東京大学公共政策大学院院長

木村福成 慶應義塾大学経済学部教授

3. 外部評価委員会報告書 別添のとおり